

I. 学校教育

【基本目標】

0歳から15歳までの連続性のある学び・育ちを重視した教育の推進

生まれてから15歳までの鴨川市の子ども達の発達特性を理解し、一人ひとりの健やかな成長と豊かに生きる力を身につけることのできる一貫した教育を、鴨川市の保幼小中一貫教育として重点的に推進します。併せて、これから生き抜く力の基礎を確立するため、共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育や男女共同参画の視点にたった教育をはじめ、国際化に対応できる能力を養うグローバル教育、たくましい心身の育成、ふるさとや人を思いやる心を育む教育に重点を置いた学校教育の推進を図ります。

I-1. 幼児教育・義務教育の充実

◎…成果 ◆…課題

事業概要	<p>(1) 学び・育ちの連続性を重視した教育の推進 ①保幼小中一貫教育の推進</p> <p>(2) 生きる力の基礎を育む幼児教育の推進 ①保幼小連携の強化 ②魅力ある学びの場がある教育の推進 ③一人ひとりの子ども達の育ちに合わせた支援の充実 ④保護者への支援</p> <p>(3) 自ら学び未来を切り拓く義務教育の推進 ①確かな学力の育成 ②特色ある教育の実施 ③発達段階に応じたキャリア教育の推進 ④豊かな心を育む教育の推進 ⑤体力の向上と健康の推進 ⑥読書活動の推進</p> <p>(4) 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を目指す特別支援教育の推進 ①早期からの相談（就学相談・教育相談）と切れ目のない支援体制の充実 ②豊かな人間性を育む「交流及び共同学習」の推進 ③一人ひとりの発達に合わせた支援の充実 ④多様化する教育的ニーズに対応するための人材育成・指導の充実 ⑤幼稚園・認定こども園・小中学校への支援体制の強化 ⑥地域や保護者等への理解・啓発の促進</p>
平成28年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保幼小の一貫教育の体制づくりと連携事業の実施 ・鴨川市いじめ防止対策推進条例に則った推進体制の整備と諸施策の実施 ・一人ひとりの発達に合わせた早期支援システムの構築 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳児の年間指導計画作成とアプローチカリキュラム・スタートカリキュラム、保育園と幼稚園、幼稚園と小学校の相互授業参観及び交流事業の実施。 ・いじめ防止基本方針の策定（10月）、いじめ問題対策連絡協議会の開催（11月）、いじめ問題対策調査会の開催（12月） ・「どの子どもでもできる・分かる授業づくり・環境づくり」の推進と関係課との連携による支援体制の構築。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎3歳児の年間指導計画が作成できた。次年度への引き継ぎのための「平成28年度保幼小連携推進委員会のまとめ」を作成した。 ◎いじめ防止に関する関係課・機関との連携を通して組織化が図られ、推進体制が整った。 ◎児童生徒の意識調査を実施し、その分析ができた。「鴨川市の授業スタンダード」リーフレットを作成した。他課との連携体制を構築できた。 ◆3・4・5歳の年間指導計画を各園で実施・修正と相互授業参観等の確実な引き継ぎ。 ◆策定済みの「学校いじめ防止基本方針」の見直しと各種施策の確実な実施。 ◆学習面や行動面の困難さを早期発見するための意識調査の実施。読みの困難さに対応

	した指導法「MIM」の実施。誰もが分かる授業づくり、環境づくりを目指した「鴨川市の授業スタンダード」の実践。
平成 29 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保幼小一貫教育における連携事業の継続実施 ・鴨川市版算数・数学共通取組課題の検討 ・新学習指導要領完全実施に向けた英語の教科化への円滑な対応 ・「特別な教科 道徳」へ向けた道徳教育の充実 ・一人ひとりの発達に合わせた早期発見・早期支援の取組 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保幼小の連携として、アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの実践。相互授業参観の実施。交流活動の充実。 ・鴨川市版算数・数学として「ちばっ子チャレンジ 100・ちばのやる気学習ガイド」共通問題活用状況調査・実践報告。 ・新学習指導要領に対応した小学校英語活動実践講座の実施。新学習指導要領の完全実施 A L T を活用した授業実践の充実。移行期に伴う情報の共有。 ・「特別な教科 道徳」として新たに位置づけられた経緯やポイント、道徳科の目標と指導内容、指導方法・評価について市全体で研修を行った。 ・誰もが分かる授業づくり、環境づくりを目指した「鴨川市版スタンダード」の推進。読みの困難さに対応した指導法「MIM」の実施。意識調査の実施。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎アプローチカリキュラムが定着し、各園で意識的に実践に取り組むことができた。幼小の推進委員が連携し、小学校区の特徴を活かした交流が図られた。 ◎算数・数学の取組では、実施率 100%をめざし、各校で授業や家庭学習において共通問題を積極的に活用するようになってきた。 ◎32年度からの英語の教科化に向けて、移行期の取り組みや A L T の活用方法を市内全校で共通理解した。 ◎全教職員による道徳研修を実施したことにより、道徳の教科化に対する教員の意識が高まった。 ◎誰もが分かる授業づくり、環境づくり「鴨川市版スタンダード」によりユニバーサルデザインを意識する職員が増えた。MIMの取組では音韻処理が向上。意識調査により一人ひとりの発達による課題を把握しやすくなった。 ◆保幼小の連携では、小学校のスタートカリキュラムの周知が足りず、実践内容に偏りがあった。 ◆鴨川市版算数・数学共通課題の活用の効果について、分析・研修が不十分。 ◆英語活動では、学校間で A L T の活用状況に偏りがみられた。 ◆来年度から実施する道徳の評価について、さらなる研修が必要である。 ◆「鴨川市版スタンダード」「MIM」について、教職員の意識や活用状況に偏りがある。
平成 30 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保幼小中一貫教育における連携事業の継続実施 ・鴨川市版算数、数学共通課題の取組の継続 ・32年度の教科化を視野に入れた、英語科・英語活動の充実 ・一人ひとりの発達に合わせた早期発見、早期支援の取組の継続 ・道徳教育の指導力向上に向けた取組 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保幼小連携を軸としたアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの実践。 ・年間計画に位置づけた相互授業参観・交流活動の実施。 ・鴨川市版算数・数学共通問題の追加と精選。活用状況調査、実践報告。全国学力・学習状況調査の誤答分析方法を各校で研修。 ・新学習指導要領に対応した小学校英語活動実践講座・指導力向上研修の実施。 ・新学習指導要領に対応した A L T を活用した授業実践の充実。 ・教務主任研修会において、南房総教育事務所安房分室の指導主事を講師に、「道徳の評

	<p>価と通知表及び指導要録の記載の仕方」という内容で研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが分かる授業づくり、環境づくりを目指した「鴨川市版スタンダード」の推進。読みの困難さに対応した指導法「MIM」の実施。意識調査の実施。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎小学校区単位の幼小連携の体制と年間を通した計画が確立され、アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの周知が図られ、保幼小連携の視点が明確化された。 ◎授業や家庭学習等で鴨川市版算数、数学の共通課題をほぼ100%取り組み、基礎基本が定着してきている。 ◎32年度と同様の時数での先行実施をしたことで、教職員の英語に対する意識の変化が見られ、ALTをT2とする授業スタイルの定着が図られた。 ◎鴨川市巡回相談員が、市内こども園保幼小中の全園、全学校のよりよい環境づくりを助言することで、ユニバーサルデザインの意識化を深めることができた。 ◎鴨川市版道徳年間指導計画が完成、別葉についても中学校は道徳推進教師を中心に作成することができた。 ◆算数・数学は基礎的基本的な定着を図りつつ、全国学力・学習状況調査の誤答を意識した授業改善について検討していく必要がある。 ◆英語教育の推進の視点から、ALTは英語への興味関心や親しみにつなげることができるとは、教科化に向けて学力としての英語力を伸ばす手立てを考えていく必要がある。 ◆意識調査の結果から、音韻処理や目のコントロールの改善を意識した指導を継続していく必要がある。 ◆各学校における道徳の評価の一助となった。今後は評価についての情報交換をしていきたい。
令和元年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保幼小中一貫教育における連携事業の継続実施 ・小学校課程における年間指導計画の作成 ・タブレットの全校配置を受け、新学習指導要領を見据えた小学校プログラミング教育に関する研修の実施 ・鴨川市版算数・数学共通課題の取組の継続と授業改善についての研修 ・令和2年度の教科化を視野に入れ、学力を伸ばす英語科・英語活動の充実 ・一人ひとりの発達に合わせた早期発見、早期支援の取組の継続
	<p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保幼小連携を軸としたアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの実践。交流活動の実施 ・2年度から新学習指導要領全面実施を受け、小学校課程における年間指導計画を教務主任とともに全教科作成した。 ・鴨川市版算数・数学共通問題の活用状況調査、実践報告。県教委の学力学習状況検証事業校に指定された西条小の授業改善について、市学力向上推進委員メンバーが授業参観 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を園と小学校双方が意識することができた。連携の必要性が再確認できた。 ◎鴨川市巡回相談員が、市内全園、全学校のよりよい環境づくりを助言した。ユニバーサルデザインの各校の取組を市内で共有した。 ◎全ての教科において、単元、目標、学習内容、3観点の評価規準、反省等を盛り込んだ。鴨川市版の年間指導計画として、教科によっては鴨川市の学習内容を取り入れた。 ◎授業や家庭学習等で鴨川市版算数・数学共通問題は100%取り組み、基礎基本が定着してきている。西条小の授業参観は市学力向上推進委員メンバーの7割が授業参観をした。 ◆保幼小の接続を意識し、共同学習として互惠性のある交流を進めていく必要がある。 ◆実態に合わせたユニバーサルデザインの視点及び具体的な支援の方法について、引き続き、全教職員に伝える必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆鴨川市版算数、数学共通問題や全国学力・学習状況調査の誤答分析から、西条小の授業改善の取組を意識し、授業実践に活かす必要がある。

令和2年度	《 重点取組 》 ・ 保幼小中一貫教育における連携事業の継続実施 ・ 鴨川市版算数・数学共通課題の取組の継続と授業改善についての研修 ・ 一人ひとりの発達に合わせた早期発見、早期支援の取組の継続
	【実施状況】 【成果と課題】
【 5年間を総括した成果と課題 】	

I-2. 学校教育環境の整備充実 ◎…成果 ◆…課題

事業概要	<p>(1) 学校施設設備と教育機器の整備 ①長寿命化や大規模改修への対応 ②魅力ある学校づくりに向けた設備の拡充 ③バリアフリー化の推進</p> <p>(2) ICTを活用した情報教育への対応 ①ICT機器の導入</p> <p>(3) 教員の意識改革と指導力の向上 ①研修の充実と自主的研究活動の促進</p> <p>(4) 信頼される学校づくりの推進 ①学校評議員制度の実施 ②学校規模・クラス規模の適正化 ③開かれた学校づくり</p> <p>(5) 学校給食の充実 ①施設・設備の充実 ②民間委託の推進 ③学校や家庭との連携 ④地産地消の推進</p>
平成28年度	<p>《 重点取組 》 ・ 安房東中学校武道場及び田原小学校施設改修 ・ タブレットPC等を活用した授業検証による教員の指導力向上 ・ ICT機器導入に向けた環境整備と計画案の策定 ・ 学校給食の調理・配送業務等委託に向けた情報収集</p> <p>【実施状況】 ・ 安房東中学校武道場非構造部材等改修工事及び田原小学校施設改修工事 ・ 田原小学校、安房東中学校にてタブレットPC等を活用した授業公開の開催 ・ ICT環境整備に向けた各種機器の検証及びPC回線の改修工事の実施 ・ 県内の市町（39団体）を対象に給食調理・配送業務等の委託状況調査の実施</p> <p>【成果と課題】 ◎安房東中学校武道場の天井部分の整備、田原小学校校舎の洋式トイレが整備できた。 ◎タブレットPCを活用した授業を展開したことにより、ICT機器を活用した授業形態に対する教員の意欲向上につながった。 ◎市内全小中学校でタブレットPC導入に向けた環境整備が整った。 ◎県内での給食調理・配送業務等の委託状況を把握した。 ◆鴨川中学校グラウンド改修の必要性が新たに浮上し、整備計画の見直しが必要となる。 ◆教員のICT機器活用能力の向上へ向けた計画的な研修計画が必要となる。 ◆各小中学校へのタブレットPCの計画的な導入が求められる。 ◆給食業務の合理化・効率化を図るため、事業計画に沿った実施が求められる。</p>
平成29年度	<p>《 重点取組 》 ・ 西条小学校屋内運動場設計業務、鴨川中学校野球場補修工事 ・ ICT利活用推進委員会を中心とした計画的な研修の実施</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPCの計画的配備 ・学校給食の調理・配送業務等の委託に向けた業務内容の検討 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西条小学校屋内運動場施設及び鴨川中学校野球場補修工事を実施した。 ・ICT利活用推進委員会及びタブレットPC等の導入校の教員を中心とした研修を実施した。 ・市内4校（鴨川中学校、東条小学校、天津小学校、小湊小学校）へタブレットを配備した。 ・学校給食の調理・配送業務等の委託に向けて、業務内容、民間委託実施までのスケジュール、経済比較などを検討した。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎西条小学校屋内運動場設計完了及び鴨川中学校野球場の整備ができた。 ◎ICT機器の活用研修を実施することにより、機器を授業で活用する意識が高まった。 ◎校内4校のICT環境整備が完了した。（2カ年計画の内、初年度分） ◎鴨川市学校給食センターの調理・配送業務等の民間委託に関する基本計画（案）の策定を行った。 ◆長狭中学校のテニスコート改修の早期実施 ◆タブレットPC等の未導入の小学校へのICT環境整備の実施 ◆教員のICT機器活用能力の向上 ◆平成30年度の契約締結に向けて、委託業務の課題点の洗い出しが求められる。
平成30年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天津小学校屋内運動場の設計業務及び西条小学校屋内運動場大規模改修工事 ・ICT機器活用能力向上に資する研修の実施 ・タブレットPCの計画的配備（後期分） ・若手教員の研修会の実施 ・学校給食の調理・配送業務等委託の契約締結 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天津小学校屋内運動場の大規模改修工事に係る設計業務を実施した。 ・ICT利活用推進委員会及びタブレットPC等の導入校の教員を中心とした研修を実施した。 ・市内6校（江見小学校、鴨川小学校、西条小学校、田原小学校、長狭小学校、長狭中学校）へタブレットを配備した。 ・市独自で新規採用職員の研修会や3市1町で連携した初任者研修を実施した。 ・学校給食センター調理及び配送業務委託契約を締結した。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ICT機器の活用研修を実施することにより、機器を授業で活用する意識が高まった。 ◎市内6校のICT環境整備が完了した。（2カ年計画の内、最終年度分） ◎現状の問題点を精査し、更に、学校給食センター運営委員会の意見を踏まえ、調理・配送業務委託についてプロポーザル方式で業者選定を行った。 ◆西条小学校屋内運動場の大規模改修工事は国の補助金事業として不採択であったため、平成31年度に事業採択された後、速やかに工事に着手する。また、天津小湊小学校屋内運動場の大規模改修工事についても国の補助金事業として採択後に実施を予定している。 ◆特別教室へのICT環境整備の実施 ◆プログラミング教育を教育課程にどう位置付けていくのか等の検討 ◆次年度より県の研修体系の変化を見ながら、市としての研修のあり方を考えていく必要がある。

令和元年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西条小学校屋内運動場大規模改修工事 ・幼稚園・認定こども園、小中学校普通教室への空調の設置 ・特別教室の一部に無線LAN環境の整備を図る。 ・鴨川市の「学校における働き方改革」に関する方針の策定 ・学校や家庭と連携を図り、食育の推進を図る。 <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西条小学校屋内運動場大規模改修工事を実施した。 ・天津小湊小学校屋内運動場大規模改修工事を実施中（明許繰越） ・幼稚園・認定こども園、小中学校普通教室等へ空調機器を設置した。 ・学校における働き方改革推進ガイドラインを策定した。 ・栄養面に関する食指導を幼稚園、小学校、中学校、保護者等に対して実施した。 <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎西条小学校屋内運動場の大規模改修により安全な教育環境へ改善を図った。 ◎普通教室等は冷暖房完備となり、教育環境の改善を図った。 ◎ガイドラインを策定したことにより、学校における働き方改革の方策が示され、教職員の意識の向上と在校時間の減少につながった。 ◎食指導 28 回（906 人）、給食参観 15 回、試食会 20 回（383 人）を実施した。 ◆各学校での空調の温度管理や維持管理等についての方針が必要 ◆教員の業務量自体の削減及び中学校部活動指導に係る長時間の在校時間を解決することが必要
令和2年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天津小湊小学校屋内運動場大規模改修工事（明許繰越） ・教育施設長寿命化計画の策定 ・GIGAスクール構想実現に向けたICT教育環境の整備検討 ・業務量削減に向けた統合型校務支援システムの導入準備 ・「学校支援地域本部事業」の一環として、市内全小中学校のコミュニティ・スクール導入に向けた環境整備 ・令和2年度から指定される食育指導推進拠点校を中心とした、学校や家庭との連携による食育の推進 <p>【実施状況】</p> <p>【成果と課題】</p>
【 5年間を総括した成果と課題 】	